

平成31年2月15日

報道機関 各位

文化財修復に関する講演会の開催について

このたび、富山大学芸術文化学部は下記のとおり、製炭師の木戸口武夫氏を講師に迎え講演会を開催いたします。木戸口氏は精密機械研磨、金属研磨、漆芸の研ぎなどに不可欠な研磨炭、中でも漆芸には欠かせない駿河炭、呂色炭を焼く製炭師です。今では駿河炭が焼ける唯一の職人であり、選木から、伐採、製炭までこなす稀有な存在です。

時代とともに生産量の減る、工芸材料、素材、道具の数々。この時代に研磨炭を作られている木戸口氏、どの様な事に注力し、どの様な仕事をされているのかについて、伝統工芸を支える材料をつくる、製炭業 木戸口氏のお話を伺う貴重な機会となります。

金工、漆芸分野の関係者だけではなく、工芸全般、工芸材料、文化財の保存、文化財活用などにご興味のある方を含め、広くご参加頂ければとおもいます。この地域の今後の文化財のあり方、ものづくりを考える上で有意義な講演会になる事を期待し、ご案内申し上げます。つきましては、取材・報道方宜しくお取り計らい願います。

記

- 日 時： 平成31年3月9日(土) 13:00～14:45
- 場 所： 富山大学 芸術文化学部 (高岡キャンパス) B-212 教室
富山県高岡市二上町180番地
- 講 師： 木戸口 武夫 氏
- 講 演： 「研磨炭づくりの現場から」 13:00～14:30
質疑応答 14:30～14:45
- 受講人数： 40名程度を予定
- 受講料： 無料
- 対象者： 一般、学生 (申し込みは不要です。)
- 主催： 富山大学 芸術文化学部



木戸口 武夫 氏 略歴

- 昭和34年 石川県白峰村（現白山市）生まれ
- 昭和53年 福井県立科学技術高等学校機械工学科卒業
金融関係事務機械メーカーに就職、
エンジニア・営業職として16年勤務
- 平成6年 研磨炭製炭者東浅太郎氏に師事
研磨炭研修の傍ら小浜竹炭生産組合にて竹炭研修
- 平成7年 師匠と名田庄総合木炭生産組合を設立
- 平成10年 独立 名田庄総合木炭として事業継続
名田庄総合木炭生産組合 組合長
- 平成26年 森の名手・名人に認定（国土緑化推進機構）
- 平成28年 林業遺産に認定（日本森林学会） 福井県農林漁業賞受賞
- 平成29年 卓越技能表彰、現代の名工（厚生労働大臣）
- 平成30年 黄綬褒章受章
- 現在 福井炭やきの会 副会長
ふくいの炭生産者連絡協議会 副会長

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学芸術文化学部総務課
総務・研究協力チーム 羽鳥, 魚津
TEL. 0766-25-9138